

格付けの更新について

広島信用金庫（理事長 川上 武）では、株式会社日本格付研究所（JCR）より、前回に続き、格付「A」（シングルAフラット）を取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. 格付結果

格付け対象	長期発行体格付	
格付け	『 A 』（シングルAフラット）	【前回と変更なし】
格付け見通し	『 安定的 』	【前回と変更なし】

2. 格付事由

<ul style="list-style-type: none"> ・格付は、顧客基盤の厚みなどが支える相応の収益力、小口分散の効いた貸出資産の質、リスク対比で充実した資本などを反映している。 ・コア業務純益は安定的に推移している。今後は貸出金利の引き上げが進捗することで預貸収支が改善し、コア業務純益は高まる方向にある。 ・小口分散を効かせた厳格な与信運営などにより、与信費用が多額となるリスクは小さい。 ・市場部門では、市場金利の上昇を受け、円建債券の評価損が膨らんでいる。中長期債への投資を継続している中、金利リスクと評価損益の動向に注目していく。 ・資本の充実度は高い。有価証券の更なる評価損拡大にも比較的高い耐性を備え、高い資本水準が維持されていく。
--

3. 取得日 令和7年10月14日

◎ご参考：長期発行体格付の定義

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
LD	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については、約定どおりの債務履行を行っているとしてJCRが判断している。
D	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとJCRが判断している。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内の相対的な位置を示す区分として、「プラス（+）」、「フラット（符号なし）」、「マイナス（-）」の三段階があります。

※長期発行体格付とは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。